

竹の子だより



第113号 平成30年10月27日(土)発行

発行責任者 坂井 正志

編集 明星会広報委員会

発行 社会福祉法人 明星会



作 Y・O T・H

【住所】〒250-0052 神奈川県小田原市府川 752-5 【TEL】 0465-32-7740 【FAX】 0465-32-7741

【E-mail】 info@takenokogakuen.jp 【HP】 <http://myoujoukai.org>

【事業】 竹の子学園 竹の子ケアセンター パン工房ハッピー 竹の子ホーム

相談支援センターエール 相談支援センターりあん(足柄上地区委託障害者相談支援事業所)

放課後等デイサービスぽっぷ ハッピー・ONE・STEP

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。

明星会HP



竹の子学園

ボランティア募集

明星会では、行事や利用者様の日常生活に携わるボランティアをしてくださる方を定期的に募集しています。

ご興味のある方は、QRコードを読み取って頂くか、担当者までご連絡をお願いいたします。

担当：寺嶋眞保・奥津 TEL 0465-32-7740

竹の子学園 バーベキューー泊旅行

八月二十八日、二十九日で山梨方面にバーベキューー泊旅行に行ってきました。「山の天気は変わりやすい」と、言う事で天候が不安定でしたが、バーベキューーをする頃には雨も上がり、ロッヂで美味しいお肉や焼きそばを堪能した後は、手持ち花火をして



竹の子学園夏祭り



七月二十八日、今年の夏祭りは台風十二号の為に規模を縮小して開催しました。利用者様と職員、ただけの夏祭りとなりましたが、メイン会場となった作業室には太鼓と紅白幕でお祭りの感を出し、盆踊りを踊り、食堂や別の作業室では焼きそばや焼き鳥、かき氷等を食べ、台風の事は忘れて楽しまれています。（江利川）



夏を感じました。

二日目は山梨県立リニア見学センターで、リニアの試験走行やリニアの構造についての実験などを見学してきました。最後に山中湖の浅間茶屋で山梨名物のほうとうを食べ、二日間を皆さんでゆつくりと楽しめた一泊旅行になりました。（寺嶋）

パン工房ハッピーー泊研修

七月十三日、十四日、待ちに待ったディズニールランドに行ってきました。暑い中でしたが、それぞれアトラクションやショーなどを楽しみました。夜のパレードではミッキーに負けないくらいのキラッキラな笑顔が溢れていました。ホテルも二日目のギフトショップも最高！夢の国を満喫してきました！キャストの皆さんの接客や掃除の仕方を勉強し、帰ってきてからそれぞれ発表しました。今後のハッピーーに活かしていきたいですね！（遠藤）



ぽっぷ流しそうめん

八月十八日ぽっぷでは開所以来初の流しそうめん！午前中は竹の器をヤスリで削ったり、マイカップ作りをしました。そうめんを箸やフォークで上手にすくいた皆さん食べました。そうめん以外にチーズやグミも流し、とても楽しまれました！（田邊）



竹の子ケアセンター夏祭り



八月四日夏の日差しが強い中、焼きそばやフランクフルトを美味しく頬張り、ゲームコーナーやスイカわり、盆踊りで楽しく体を動かし、とても素敵な夏祭りとなりました。

今年度はご家族も参加され、利用者様と共に楽しい時間を過ごされました。（鈴木康浩）



竹の子ケアセンターー泊旅行

十月十一日、十二日に伊豆旅行へ行ってきました。

一日目に寄った『アニマルキングダム』では、近くで見る動物たちの迫力を感じた後にホワイトタイガーの赤ちゃんのかわいらしい姿はとても癒されました。夜の宴会では利用者様と一緒に美味しい夕食やカラオケで盛り上がり、楽しいひと時となりました。二日目は修善寺の虹の郷へ行き、ディーゼル機関車に乗り車窓から見る自然の風景はとても素晴らしく綺麗で園内を散策しながらイギリスの町並みを感じてきました。

利用者様に何が楽しめたかと振り返りつつ余韻に浸りながらも来年はどんな旅行を企画しようかと話しながら帰路に付く、楽しい一泊旅行となりました。（松井）



役員会等開催報告

【平成三十年度第二回理事会】が平成三十年九月二十日、竹の子学園ヴィーホール一階にて開催されました。

議案「パン工房ハッピー就労定着支援事業開始に伴う事業計画（案）について」坂井総合施設長より事業計画（案）として事業内容と運営規程、予算の説明があり、承認されました。

また、理事長より本年度「第一回職務の執行状況報告」と「本年度の現在までの状況報告」がありました。

（磯崎）



スキルアップ＆ネットワーク研修会報告

九月二十一日、全三回に渡るスキルアップ＆ネットワークが終了しました。参加者は毎回法人職員を合わせて五十名以上の方々に受講して頂き、出来るだけリアルタイムな話題を提供しようと企画しました自己啓発・意思決定支援・防災とそれぞれ



（小島）

各回とも熱心に講師の話に耳を傾け、考えさせられる内容となりました。今後も、ネットワークとしての一助として、横の広がりを目指し参加者の力になればと思います。



第5回 研究発表会 報告

平成三十年九月一日竹の子学園ヴィーホール一階において、「第五回 研究発表会」を開催しました。

明星会正職員全員参加による「研究会」、今年も各事業所を中心としたハグループリに分かれ、四月からの五ヶ月間、発表会に向けて資料作り等の準備をしてまいりました。

発表会当日は来賓として真田監事をお招きし、ご意見・ご感想をいただきました。

今年の研究成果につきましても、各種事例発表会において積極的に発表してまいります。

（磯崎）



法人新任研修

明星会では、基本理念・行動指針などを学ぶため、新たに入職された常勤・非常勤職員を対象とした「新任研修」を定期的に開催しています。平成三十年度第二回目の新任研修は七月十八日に開催されました。参加者…

竹の子学園

大瀬航平

斉藤梨恩

瀧本裕美

吉川尚子

花山美佐子

星野優子

小泉智史

以上 七名

まず理事長より、研修の意義、目的をお聞きし、次に坂井総合施設長より、法人の基本理念、沿革について、ハッピーワンステップ

の公益事業や権利擁護、虐待防止、個人情報保護などを学びました。事務長からは就業規範、金銭管理についての講義で、明星会愛・竹の子愛で、利用者様のためにがんばっていることと決起を確認し合い、笑顔で終りました。

（林美貴）

アクティブシニア 応援ポイント

明星会でもボランティア活動等で「アクティブシニア応援ポイント」を実施しております。

小田原市に住所を有する満六十歳以上の方が対象となります。

市指定の介護保険施設やイベントなどでボランティア活動をする、その活動に対してポイントがたまります。翌年度にポイントに応じた商品に交換できます。（介護保険料を滞納している方は商品交換ができません）

小田原市社会福祉協議会で登録を行なっております。皆さんと一緒に楽しい時間を過ごせたらと思います。



イメージキャラクターはつるぎやつる

詳しい内容のお問い合わせ先

・小田原市社会福祉協議会

電話 〇四六五・三三・四〇〇〇

・社会福祉法人 明星会 竹の子学園

電話 〇四六五・三三・七七四〇

（担当 小島）

第23回竹の子祭のお知らせ

日時 平成30年11月23日(金・祝)
10:00～14:00

場所 竹の子学園 (雨天決行)

* 法人紹介 * バザー * アトラクション * 模擬店各種 * ゲームコーナー
* 陶芸体験・販売 * 七宝体験・販売 * パン販売 (パン工房ハッピー) * 手芸品販売
* 農作物販売 * 木工製品販売 * リース作りワークショップ * 外部出店

お問い合わせ 竹の子祭実行委員会・ボランティア募集
TEL. 0465-32-7740 (奥津・寺嶋眞保)

・バザー品、ボランティアして下さる方を募集しています！ ・ご来場は公共交通機関をご利用ください。



ステージ
出演者

歌手・日本舞踊家
春蝶

出演時間

①11:15 ②13:20

相模沼田駅発→竹の子学園行き
無料送迎時刻表

9時			30	45
10時	00	15	30	45
11時	00	15	30	45
12時	00	15	30	45
13時	00	15		

ハッピーマルシェ 開催!!

毎年恒例、ハッピーマルシェが今年も開催決定！
皆さまに楽しんでいただけるよう、ただいま準備
をしています。遊びに来てくださいね！

日時
平成30年12月15日(土)
10:00～15:00 (雨天決行)

場所
パン工房ハッピー



パン作り
体験も
同時開催！

無料
ポップコーン
もあるよ！

ありがとう善意の気持ち

▼寄付

▼招待



- ・小田原市社会福祉協議会様
- ・奥津精米所様
- ・親の会様
- ・和らぎ夏祭り
- ・介護付き有料老人ホーム和らぎ様
- ・昼食会
- ・株小田原清流の郷様
- ・ブルーベリー狩り
- ・小田原市社会福祉協議会様
- ・瀬戸元治様
- ・大相撲見学
- ・大相撲小田原場所実行委員会様

望む暮らしの実現に向けて

Aさんとの出会いは、今から八年前。
その年の三月に児童入所施設を退所さ
れた十八歳の四月でした。養護学校高
等部卒業後、企業への就職が決まり、
同時期にグループホーム入居(共同型)
が決まったAさんにとっては、激動の
一年だったようです。

グループホームと就労との新生活
は、自己決定しなければならな
ことが多く、ひとりで牛丼屋などに入
って食事すること、生活に必要な物
品や洋服の購入など、生活全
てにおいて初めて経験する事への戸惑いや、
緊張がみられていました。

「いずれはアパートでの一人暮らし
をしたい」との希望から、ア
パートタイプの独立型グループホームに
移ったのは二十三歳。自室キッチン
での調理、普通自動車免許を取得さ
れての車通勤など、希望されていた
一人暮らしに向けての努力と成果が
実を結んだ二年後、念願のアパート
暮らしを実現されました。

保佐人さんやグループホーム支援
員と共にAさんの意思を尊重した話
し合いを重ねる中で、必要な支援の

役割分担を明確にしたことは、Aさん
にとっても一人暮らしへのイメージが
もちやすかったようです。

「施設やグループホームの時は、み
んなと一緒に新年迎えていたから……
ひとりで迎えるお正月は初めてだっ
た。」と語っていた二十六歳の冬。新
潟県まで一人旅を計画され、スノー
ボード講習を受けてきたAさん。十八
歳の頃には想像できなかった逞しい表
情となっています。

グループホームで生活されている後
輩たちには、Aさんの軌跡が現実的
でわかりやすいうえ、良い刺激となっ
ています。「次は自分」と現在も数名が
一人暮らしを目指して
います。

相談支援センターエール

露木とし



編集後記

秋風が心地よい季節となりました。

秋といえば、「味覚の秋」「芸術の秋」「ス
ポーツの秋」といろいろ言われますが、
皆さまはどのような充
実した秋を迎
えているのでし
ょうか。(山田)

